

《履修上の留意事項》【面接授業と遠隔授業の併用実施】

《担当者名》助教 / 西牧 可織

【概 要】

本科目では歯科医療の専門職に必要な情報通信技術(ICT)を活用する知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切な判断と解決のできる学術的・実践的能力を身につけることを目的とする。また、医療人として必須となるコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力の向上も目的として、協働で課題を解決することを体験しながら、自らの専門領域を発展させる能力を身に付けられるようにする。

授業の序盤では、課題を解決するための枠組みとして、主に、文書作成技法、データ処理・分析技法、プレゼンテーション技法などの活用術を学ぶ。授業の中盤以降では、クラウド技術も活用して、他の学問分野との連携を踏まえながら協働での課題解決をはかる。

【学習目標】

歯科医療の専門職に必要なコンピュータとインターネットの活用方法を説明する。

レポートや論文などの定型文書の作成方法を説明する。

データの集計方法や視覚化の方法を説明する。

ネットワーク社会におけるモラルや著作権に配慮したインターネットの利用と活用方法を説明する。

コンピュータを使ったプレゼンテーションの方法を説明する。

SGDにおいてはクラウドを活用しながらメンバー相互が協働して課題を解決し、その結果をまとめて発表する。

【学習内容】

| 回 | テーマ                     | 授業内容および学習課題                                                                                                                                                                                                                                                  | 担当者   |
|---|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 1 | 文書作成技法                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文書における見出しの構成と見出しについて説明できる。</li> <li>・見出し構成と見出しを持つ文書を作成できる。</li> <li>・レポートを指定の書式で設定できる。</li> </ul> <b>【演習】</b><br>PCローカルのアプリケーションを利用して、指定の書式でレポートを作成する。                                                               | 西牧 可織 |
| 2 | 文書作成技法                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの表示形式を設定できる。</li> <li>・文書にオブジェクトを挿入できる。</li> </ul> <b>【演習】</b><br>PCローカルのアプリケーションを利用して、指定の書式でレポートを作成する。                                                                                                          | 西牧 可織 |
| 3 | プレゼンテーション技法             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションを行うために必要な要素を列挙できる。</li> <li>・Smart Art (概念図) の利用方法を列挙できる</li> </ul> <b>【演習】</b><br>PCローカルのアプリケーションを利用して、スライドを作成する。                                                                                          | 西牧 可織 |
| 4 | プレゼンテーション技法             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて適切なプレゼンテーションを構成できる。</li> <li>・目的、場所、相手に応じた、わかりやすい資料を作成できる。</li> <li>・Smart Art (概念図) を利用して発表内容を表現できる。</li> <li>・原稿の内容に沿ったスライドを作成できる。</li> </ul> <b>【演習】</b><br>指定された原稿の内容を理解して、原稿の内容を概念図などにより表現しながら、スライドを作成する。 | 西牧 可織 |
| 5 | データ処理、データ分析、プレゼンテーション技法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウド型のフォームを使ったアンケート調査ができる。</li> </ul>                                                                                                                                                                                | 西牧 可織 |

| 回             | テーマ                          | 授業内容および学習課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 担当者   |
|---------------|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 7             |                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スプレッドシートのフィルタリング機能を使ったデータの抽出方法を列挙できる。</li> <li>・スプレッドシートのピボットテーブル機能を使ったデータの集計方法を列挙できる。</li> <li>・スプレッドシートでグラフを作る方法を列挙できる。</li> <li>・課題に関わるアンケート調査ができる</li> <li>・課題に関わる討議の結果をグループでまとめることができる。</li> </ul> <p>【SGD】<br/>10名程度のグループで、与えられた課題に関わるアンケート調査を行い、その結果を踏まえて、多面的な視点をもって討議をして課題に対する最適な対応策を見つけ出す</p>                                                                   |       |
| 8<br>～<br>10  | 情報検索、プレゼンテーション技法             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを使った情報検索ができる</li> <li>・インターネットから得た情報を収集できる</li> <li>・課題に関わるアンケート調査ができる</li> <li>・インターネットから得た情報を使ってエビデンスに基づいた討議ができる</li> <li>・クラウドを活用しながら課題に関わる討議の結果をグループでまとめることができる。</li> </ul> <p>【SGD】<br/>10名程度のグループで「社会で起きている問題や課題」に関わるアンケート調査とインターネット検索を行い、その結果を踏まえて、問題や課題に対してエビデンスに基づいた討議をして最適な対応策を見つけ出す</p>                                                                | 西牧 可織 |
| 11<br>～<br>14 | データ処理、データ分析、情報検索、プレゼンテーション技法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットから得た情報を使って課題発見ができる。</li> <li>・課題に関わるアンケート調査ができる</li> <li>・インターネットから得た情報を使ってエビデンスに基づいた討議ができる</li> <li>・クラウドを活用しながら課題発見・解決型の協働学修の結果をグループでまとめることができる。</li> </ul> <p>【PBL】<br/>10名程度のグループで、まず、統計ダッシュボードなどの統計データを分析することで健康や医療における課題や問題を見つけ出す。見出した課題に関わるアンケート調査とインターネット検索を行い、その結果を踏まえて問題や課題に対してエビデンスに基づいて討議する。最後に、医療人としての自らの将来像と関連付けながら、今後、自分たちがどのようにしていけばよいのかをまとめる</p> | 西牧 可織 |
| 15            | まとめ                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報処理演習で学んだことをプレゼンテーションにまとめることができる</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 西牧 可織 |

#### 【評価方法】

授業参加態度（グループ討議の回には討議の参加態度）（30％）

毎回（15回）の授業で作成する課題の評価（70％）

#### 【備考】

教科書：二瓶 裕之・西牧 可織 著「北海道医療大学 医療系学部生のための情報リテラシー」 丸善 2019年

参考書：北海道医療大学MediaDopoシステムにおいて教科書の内容をビデオ化した映像を配信しているので予習・復習に活用してください

<https://depo.hoku-iryo-u.ac.jp/>

その他：電子シラバスシステムをベースにした学修eポートフォリオを利用して学修のPDCAサイクルを進めてください

<http://milkywaypast.hoku-iryo-u.ac.jp/syllabus/>

#### 【学習の準備】

学教科書で該当する章を事前に読んで内容を理解しておくこと、また、北海道医療大学MediaDopoシステムには該当する章の事前学習用ビデオがあるので予習において活用すること（80分）。

情報処理室やCALL教室、もしくは、自分で所有しているパソコンを利用して事前学修の項目を確認したり、授業で作成した課題を再度作成するなどの事後学習（復習）を行うこと（80分）。

SGDやPBLでは、事前に具体的な調査資料を配布するので、個々で調べて授業に臨むこと(80分)。授業終了後は、グループ討議の結果を自分なりに整理しておくこと。

#### 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を習得するために必要な基礎知識を医療情報学の観点から修得する（専門的実践能力）。

DP3. 疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる基礎能力を医療情報学の観点から身につける（自己研鑽力）。

DP4. 多職種（保健・医療・福祉）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践するために必要な基礎知識を医療情報学の観点から修得する（多職種が連携するチーム医療）。

DP5. 歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力を身につけるために必要な基礎知識を医療情報学の観点から修得する（社会的貢献）。